

令和3年度 学校自己評価書 —保護者や地域の皆様へ—

小美玉市では、市内各幼稚園、小・中・義務教育学校で、教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行っております。各学校がその結果を公表しておりますが、ここでは「保護者や地域の皆様へ」という部分のみをまとめてお示しします。

今後も、市民の皆様へ情報をお伝えしてまいりますので、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【野田小学校】

学校教育目標「学ぶ力を身に付け、たくましく、心豊かな児童の育成」の実現に向けて、「豊かな心の育成」「学力・体力向上」「学校・家庭・地域との連携」の3つの柱を立て教育活動を推進してまいりました。今年度も、コロナ禍の中、学校が二度にわたり臨時休校となり、例年通りの教育活動ができない部分も多く、児童にとっても保護者の皆様にとっても我慢をいただいた1年でした。

一つ目の「豊かな心の育成」については、特別活動、学校行事等、体験活動を重視してまいりました。学校行事や体験活動は、コロナの影響で縮小、中止したものもありましたが、人権教育や道徳教育などを通じ、豊かな心の醸成に努め、いじめの解消100%を目標に取り組んでまいりました。今年度は閉校を控え「野田小学校最高の児童を目指そう」ということで学年ごとに目標を決めて取り組んでまいりました。学期末には学年ごとに自分たちの取組を評価し、年度末の100点を目指して取組を重ねておるところです。今後も、互いの良さを認め合い、お互いを高めていける機会を大切にし、豊かな心を育ててまいります。

二つ目の「学力・体力の向上」については、「家庭学習強化週間」や「補習タイム」を設定し、家庭学習の習慣づくりや学習内容の基礎・基本の定着に力を入れ、学力向上を目指しました。また、国語科を中心に校内研修の充実を図り、授業の改善と充実を図ってまいりました。体力面では、体力テストの結果から体力の低下が顕著に見られました。休校期間や外遊びの制限等の影響が大きいと考えられます。コロナ禍ではありますが、少しでも体力アップにつなげることが出来るよう業間体育等を工夫改善していくことが課題です。

三つ目の「学校・家庭・地域との連携」については、ホームページの学校ニュースの更新や学校便りを通して、積極的に情報発信するとともに、アンケートや皆様からの直接のご意見を生かした学校運営に努めてまいりました。学習支援ボランティアについては、コロナ禍の中、今年度も読み聞かせのみ「こんぺいとう」様をお願いして実施いたしました。1日も早いコロナの終息を願い、終息後は、保護者や地域住民の方々のご協力を得ながら、児童にとっての豊かな教育を推進してまいりたいと考えております。

令和3年度末をもって、野田小学校は68年間の歴史に幕を下ろします。長年教育活動にご理解ご協力いただいた全ての皆様へ感謝いたします。そして、小川北義務教育学校の今後の発展に向けて、更なるご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。ありがとうございました。

【上吉影小学校】

子供たちの「生きる力」を育むために「自ら考え、判断し、表現できる児童の育成」を掲げ、学校・児童・保護者・地域が「つなぐ、つながる、つなげる」ことを重点に置きながら、継続して知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指して教育活動を進めてまいりました。感染症対策を十分に行いながらの、児童の考えを表現する場を設定することに関しては、昨年度より向上が見られましたが、更なる学習内容の充実に向けて努力して参ります。学校田、畑での農業体験、書道・2年生の町探検など今年度も地域の多くの方に学校を支援いただき、実感をともなった充実した教育活動を行うことができました。また、活動の様子は授業公開、各種便り（学校便り、学年便り、保健便り等）の発行、Webページの公開、学校便りの地区回覧により情報発信をしてまいりました。

また、今年度も米の販売体験の取組みは、市広報誌や新聞にも取り上げられました。その際取材に対して堂々と受け答えをする児童たちの姿に成長を感じました。

学校評価保護者アンケートでは、91%の保護者から「学校は、児童・保護者の質問や相談に迅速に対応している」との回答をいただきました。今後も開かれた学校、信頼される学校づくりに努めてまいります。

「進んであいさつができる」100%（児童アンケート）との結果とはなりませんが、いつでもどこでも元気な気持ちのよいあいさつができる児童の育成に継続して取り組んでいきたいと考えております。保護者、地域の方々のご協力をお願いいたします。また、保護者の皆様には「生活チェックカード」にご協力いただきましてありがとうございます。また、「インターネット等の安全な使用」などについて話し合っていました。今後も学校と保護者のとの共通理解を図るとともに、地域の皆様にもご理解とご協力を得ながら、子供たちの指導に役立てていきたいと考えております。

環境整備、学校田、畑の整備、通学路の安全点検など、保護者や地域の皆様には今年度も学校を支援いただきました。大きな事故もなく安全に児童が生活できましたこと感謝申し上げます。今後も充実した体験活動や教育環境整備に努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

本校は今年度で閉校となります。皆様のご支援で充実した教育活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。

【下吉影小学校】

本校では、小規模校のよさを生かし、一人一人を大切に全員参加の教育活動を展開し、閉校を迎える今年度は、「笑顔と絆～下吉プライドを大切に～」をキーワードに教育活動を実践してまいりました。授業においては、自分の考えや思いを素直に表現できる話し合い活動の充実を目指して授業改善に取り組みました。特に今年度は、一人一台端末が全児童に配付されたこともあり、タブレット端末を用いて自分の考えを積極的に発表したり、友達の考えとの比較検討を通して学習の理解を深めたりすることができるようになってくるなど、タブレット活用のスキルの上達とともに、意見を交流する場面も増加しました。

異年齢集団活動では、様々な場面で上級生が下級生の見本となって面倒をよくみており、学年の枠を超えて助け合う温かな人間関係が築かれていました。

コロナ禍における行事の開催に際しては、規模縮小、実施時間短縮、参観者の制限など感染対策をしながら開催してきました。児童からは「できてよかった。」「楽しかった。」、保護者からは、「行事開催に対して感謝している。」等の声が寄せられ、職員一同胸をなで下ろしたところです。特に、本校の大きな特色である全校ミュージカル・下吉祭りでは、児童の生き生きと活動する姿をご披露することができました。様々な制限のある中、児童の感情豊かな演技や自分たちで考えた振り付けのダンスは大きな感動を残しました。また、稲作サポーターの皆様のご協力による米作り体験では、収穫できたお米をおかきやお餅に加工して味わい、作り育てる喜びを実感することができました。

令和4年3月31日をもって下吉影小学校は閉校いたしますが、この学校で学んだ思い出とプライドを胸に、令和4年4月1日に開校する小川北義務教育学校において下吉影小学校の児童が大いに羽ばたいてくれることを期待しています。長きにわたり下吉影小学校を支えて下さいました地域の皆様、誠にありがとうございました。地域の学校はなくなってしまいますが、下吉影地区で生活する児童・生徒の見守りと小川北義務教育学校へのご支援ご協力を引き続きお願いいたします。

【竹原小学校】

学校経営の基本方針を「楽しく元気な学校づくり」とし、キーワードとして『対話力向上』を掲げました。実現を目指し、学校全体として「児童の対話力を向上させよう」を組織目標とし取り組んできました。学習場面では、タブレット端末の活用を中心にICT機器の効果的活用について校内研修を重ねてきました。対話的な学びについては、オクリンクやジャムボードを使用して、タブレット端末を通しての対話的な学びについて研修してきました。また、新型コロナウイルス感染防止のための様々な制限がある中、よつば幼稚園開園に伴う幼小交流を学年ごとに工夫しながら実施しました。朝のあいさつ運動や昼の清掃、運動会や遠足などの行事の実施にも継続して取り組みました。その結果、児童が日常の自分を改めて見つめ直し、成長することにつながっています。今後もコロナ禍の厳しい状況が継続すると考えられますが、保護者や地域の協力を得ながら、学校の教育活動を充実させ、児童一人一人の成長を促す活動に積極的に取り組んでいきます。

児童の学校生活アンケートでは、「学校に来ることが楽しい」と答える児童が約90%と昨年度より上がっています。また、「相手に聞こえるようなあいさつ」「早寝・早起き・朝ごはん」「給食は好き嫌なく食べている」については、できていると回答した児童が80%台と他の項目に比べて低い傾向が見られました。これらについては、新型コロナウイルス感染予防のための臨時休業や制限の多い学校生活の影響も考えられますが、個別対応が必要な場面もあり、児童一人一人に目を配り、ご家庭の協力も得ながら細かな対応をしていきます。

【羽鳥小学校】

本校では、学校教育目標「進んで学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」の実現に向けて、「一人一人のよさを認め励ましほめて伸ばす～7ほめて3指導する～」を教育スローガンに掲げ、教育活動に取り組んできました。一人一人の夢を育むために、「ドリームバード」（夢と3つの目標達成）計画を毎年実施しています。この取組の継続により、夢や目標に向かって努力していることが形となって見えるようになったため、自己有用感を感じている児童が増えています。それが知・徳・体の伸張を促す原動力に繋がっていくと考えます。また今年度は、感染症対応にも努め、児童が安心して学校生活を送れるように努めました。学校評価アンケート「学校が楽しい」の項目では、約9割の支持を得たのも、その成果の表れだと考えます。

課題であった学力向上については、「読みを深め、自分の考えを形成する児童の育成～語彙指導の充実及び学習過程の明確化を通して～」を研究テーマに、授業改善に努めました。国語科の校内研究と研究協議会を中心に授業力向上を目指し、本校では小美玉市教育研究会での国語科の発表を行いました。この成果と経験を生かし、児童一人一人の学習意欲と学力をさらに伸ばしていきたいと考えます。

保護者および地域の皆様、今年度も本校教育への全面的なご理解・ご協力をいただきありがとうございました。特に、「はとりっ子スポーツ大会」「持久走大会」においては、感染症対策への取組について十分にご協力を頂いたおかげで、児童も精一杯活動をすることができ、よい思い出となりました。その他にも各行事実施へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

次年度も、教職員一同羽鳥小学校の発展に力を尽くしていきたいと決意をしております。更なるご支援をよろしくお願いいたします。

【堅倉小学校】

保護者や地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度は、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」（全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉）により、児童1人1台端末（タブレット）の活用が始まりました。保護者の皆様のご協力により、児童のタブレット操作技能が向上し、各教科における授業での活用やリモート学習、家庭学習での活用など当初の予想を上回る成果を得ることができました。子ども達の新たなものへの対応力や吸収力の高さを改めて感じました。学校ではICTの適切な活用を図りながら、未来を生きる子ども達に何が必要で、どんな力を付けさせるべきなのかを常に考えながら、基礎・基本の習得とともに、思考力・表現力の向上などを目指し取り組んで参ります。

本校では、「自己有用感や達成感を実感できる取組」を目指し、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、スポーツフェスティバルや遠足、校外学習、集会活動などを実施してきました。学校行事や体験活動を通して、友達と協力する楽しさや主体的に活動に取り組む喜び、達成感を味わいながら、児童一人一人が自己実現に向けて活動することができました。特に、スポーツフェスティバルでの児童の満面の笑顔や真剣なまなざし、友達と共に喜び合う姿はとても印象深く感じられました。また、高学年が企画運営した「いじめ撲滅月間」や「いじめストップ集会」の取組によって、全児童で関わり合いながら考えを深めることができました。1ヶ月以上にわたるこの活動によって、児童一人一人の人権意識の高まりが感じられました。

コロナ禍の中での教育活動となりましたが、安全・安心な学校生活や地域の教育力を生かした体験的な活動など充実した教育活動が実施できました。これもひとえに、地域や保護者の皆様のご理解とご協力のたまものと心より感謝いたします。

令和4年度からは、市内全ての学校で学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）がスタートします。本校では、子ども達の健やかな成長のために学校と地域が共に支え合う「地域とともにある学校」を目指して参ります。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

【納場小学校】

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。

総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやPTAの方のご尽力により、児童は田植え、稲刈り、脱穀などの貴重な体験させていただき、米づくりの大変さなどを学ぶことができました。「納場っ子 夢未来フェスタ」はコロナの影響で本年度も中止としました。収穫した米は少しずつ持ち帰り、各家庭で炊いて食べました。また、米の一部は「おかき」に加工して美味しくいただきました。

登下校のボランティアの皆様には、年間を通し児童の体調確認・交通安全・校内消毒のためにご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで安全に生活することができました。

金管バンド部については、コロナ前まで参加していた地域や学校行事が今年もなくなり、参加できませんでした。昨年同様、最後に保護者の皆様に発表できたことは大きな励みとなりました。

「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで授業を始めとして運動会などの学校行事や環境整備、金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。

令和4年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見をもとに、よりよい教育活動ができますように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【小川南小学校】

本校教育活動へのご理解、ご協力いただき、感謝しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関わる臨時休業日が続き、保護者や地域の皆様には、ご心配やご迷惑をおかけしたことが多々ありました。しかし、保護者の皆様、地域の皆様には、いつも温かい励ましのお言葉をかけていただくとともに、本校の教育活動に積極的にご協力いただいておりますこと職員一同感謝しております。

今年度は、「子供が主役 任せる 支える」ことを大切にして教育活動を推進してまいりました。小川南小学校としてまとまりのある学校生活ができています。児童も「南っ子の新しい生活様式」をもとに感染予防対策をとりながら、学校行事や日々の授業で成長しております。来年度は、今年度の成果と課題を踏まえ、一人一人の児童が自ら考え行動できる力を育み、学力や体力の向上、豊かな心の育成に、教職員一丸となって取り組んでいく所存です。

保護者や地域の皆様と私ども職員が一つのチームとして、子供たちを育てていけるよう、更なるご支援とお力添えをよろしくお願いいたします。

本校の教育活動や児童の様子、学校だよりについては、学校Webページを日々更新しております。多くの保護者の皆様や地域の皆様にご覧いただければ幸いです。

【小川南中学校】

県内でもこれだけ広い敷地、設備を備えた中学校はそうありません。この素晴らしい環境の中で、保護者・地域・各分野の関係者の皆様にご協力をいただきながら、生徒たちは学習や部活動に取り組んでおります。

本校の学校教育目標「これからの時代を切り拓くたくましい生徒の育成」を達成するために、今年度は「愛があふれる教育（学び合い、磨き合い、ICT）」を組織目標として掲げ、「チーム南中」として全職員で取り組んでおります。

さらに「人権尊重の精神を教育の柱とし、一人一人のよさが発揮される学校」「学級・学年経営が充実し、生徒の居場所がある学校」「明るく元気なあいさつのある学校」「季節感、清潔感、潤いのある学校」等をより具体的な生徒の姿や学校環境として捉えております。

学校公開日や体育祭、あしのみ祭（文化祭）など、生徒の真剣に学ぶ様子や主体的・創造的に活動する生徒の様子を直接ご覧いただける機会も計画してはいたしましたが、昨年度からのコロナ感染症拡大防止の観点から中止や変更を余儀なくされたものもありました。その中で、「新しい生活様式」に対応させながら、生徒たちの思いや願いを大切に、行事等の計画をしました。ご来校いただける場面においては皆様の生の声をお聞かせいただけましたら幸いです。

本校の教育活動や生徒の様子や各種たよりについては、ホームページでも紹介・掲載しております。ご覧いただき、引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

【小川北中学校】

本校の教育目標である『あたたかい心で人とかわかり、何事にも全力で取り組む生徒の育成』、そして、目標具現化のためのスローガン「美しい学校」の実現に向けては、生徒の頑張りや教職員の支援により、大変充実した取組ができました。この一年、コロナ禍の中、生徒はさまざまな体験をし、心身共に大きく成長しました。特に、部活動や各種行事を経験して得られた充実感、達成感、及び反省点は、必ずや次への意欲につながるものと確信しています。保護者の皆様や地域の方々のご理解とご支援のおかげもあり、いろいろな場面で生徒の善行が見られ、お褒めの話をいただくことも増えています。一方、少数ながら生徒間のトラブルや問題行動もあります。これについては、全職員で共通理解するとともに方向性を定めて共通行動に努めています。また、信頼される教師を目指し、全職員でコンプライアンス研修を実施し、不祥事の未然防止に努めてまいります。

学力・体力の向上に向けては、全職員で研修を進め、「学び合い」のよさを生かした授業改善とGIGAスクール構想を踏まえた授業の工夫を進めてまいりました。また、「特別の教科・道徳」の授業についても授業研究会を開催するなどして取り組んでいるところです。生徒は、毎日の部活動や体育の授業へも一生懸命取り組んでおり、体力を着実に身に付け、県内でも昨年同様に高いレベルを維持できています。また、課題であった家庭学習についても学習時間・内容共に高まってきていることが生徒の実態調査や学力診断のためのテスト結果から分かります。

今後も『あたたかい人間関係』を本校のキーワードとして、学習や部活動、生徒会活動や学校行事等それぞれに主体的に取り組み、常に上のレベルを目指す生徒集団、学び合う教職員集団になるよう努めてまいります。

生徒の心身の健全な育成には、保護者の皆様、地域の方々を始め多くの皆様のご支援、ご協力が欠かせません。本校ではさらに開かれた学校を目指し、授業公開や行事等に工夫改善を加え、「地域とともにある学校」になるように、学校だよりや学校ホームページ等を活用し、適切な情報発信に努めます。保護者や地域の皆様には、その豊富な教育力を学校の教育活動の充実に向け、ご協力いただければありがたく存じます。

最後に、本校は、コミュニティ・スクールとして、既存の小川北学区コミュニティ委員会との連携を図り、今後もいっそう地域に根差し、地域と一体となった学校になるよう努めてまいります。令和4年度からの義務教育学校開校に向けてさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【美野里中学校】

今年度は、「多くの感動体験や達成する喜びを味わわせ自己肯定感を育む」ことを組織目標に、様々な制約の中で実施可能な教育活動を模索し、教育活動を実施してまいりました。修学旅行やスキー宿泊学習の中止は非常に残念でしたが、それに代わる生徒の考えを重視した様々な行事・活動を通して、生徒の自主的・自立的な態度が育まれました。

学習面におきましては、基礎・基本の定着と学力の向上を目指し、ティームティーチングやICT機器の積極的な活用等を実施して、生徒一人一人への丁寧な学習支援に力を入れてきました。また、新型コロナウイルス感染の不安から登校できない生徒に対してはオンライン授業で対応することもできました。今後も全ての生徒が毎時間意欲的に授業に取り組める授業づくりを推進するとともに、ご家庭との連携をさらに深めながら家庭学習の充実を図り、学習習慣の確立と学習内容の確実な定着を目指していきます。

部活動においては、本年度も多くの部活動が上位大会に出場しました。特に、駅伝においては県駅伝競走大会4位、関東大会23位とすばらしい成績を残すことができました。

担任・学年主任等による家庭訪問やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携した教育相談の実施、相談室登校生徒への細やかな対応など、不登校生徒の状況改善に向け全職員で取り組んでおります。今後も、生徒の気持ちに寄り添った指導を心掛けてまいります。

SNSに係るトラブルの未然防止と早期解決に向け、生徒会も含め全校で取り組んでおります。好ましい人間関係づくりを考える機会として、県のスクールロイヤー事業を活用した「いじめ未然防止教室」を今年も開催しました。学校で見えない部分である自宅でのスマートホン使用に関する約束づくり等、ご家庭の協力がとても重要となります。ご協力よろしくお願いいたします。

【玉里学園義務教育学校】

玉里学園義務教育学校として令和3年の4月に開校し、間もなく1年になります。三つの小学校と一つの中学校が統合して、それぞれの学校の伝統と生活文化を融合させ、よりよい学校づくりに努めているところです。

本年度は、コロナ禍というところもあり、学校に来ていただく機会も多くは提供できず、お子様の学校での様子を直に見ることが少なくなってしまうこと、申し訳なく思います。しかしながら保護者や地域の方々の御理解、御協力のおかげで、試行錯誤をしながら開校一年目の学校運営をすることができました。

現在は変革の時期であり、特にICTを活用したよりよい学校運営のあり方を模索しているところです。今後もオンラインによる学習等を余儀なくされることも考えられますし、その他、保護者の皆様への連絡事項の伝達についても、一人一台端末を活用していくことも考えているところです。これまでの紙媒体に加えて、メールやタブレットなどによる配信など、様々な手段での情報発信をしていきます。情報は必然的に多くなるのが予想されますが、家庭や地域とともにある学校づくりを目指していきますので、是非今まで以上に本校に関心をもって、建設的なご意見をいただければと思います。

最後になりますが、今後もコロナ感染症感染防止のための御協力をお願いすることが予想されます。三密を避けることや換気、マスクの着用はもとより、学校と家庭が連携して足並みをそろえての対策の徹底が大切だと考えています。今後とも御協力のほど、よろしくお願いいたします。

【元気っ子幼稚園】

本園の教育目標「幼児期の発達にふさわしい環境を構成し、豊かな情操を養うとともに自立の態度を培い、心身の調和のとれた幼児を育成する。」の実現に向かって5つの柱（課題と教育課程・学びの連続性・指導計画の改善・生活習慣の確立・環境の維持）を立て各種教育活動を推進しております。これらの柱は、それぞれ独立して達成する項目ではなく相互に関係・関連を持たせながら実践してこそ、本教育目標にせまるものと確信しております。また、その実現にあたり最も重要なことは、子どもを適切な環境の中で育てていくことであると思っております。

そして、未来を担う存在である子どもを、幼稚園だけで育てるのではなく、保護者の皆様、地域の皆様を含めたあらゆる社会環境の中で育て成長させていきたいと切に願っております。

皆様の声を大切にしながら、職員一同、更に努力してまいりますので、今後も、尚一層、園経営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【よつば幼稚園】

日頃より、保護者の皆様や地域の皆様の、温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。

本園は、旧美野里地区の4つの幼稚園（羽鳥幼・堅倉幼・納場幼・竹原幼）が統合し、竹原小学校内2階に令和3年4月に開園いたしました。

昨年度、園児は保護者送迎での登降園をしておりましたが、新たに園バス送迎となり、また新しい部屋や園庭でたくさんの友達と遊び、小学校と同じ校舎であることなど生活が大きく変わりました。現在の園児数は年長35名・年中14名、全園児49名です。

昨年に引き続き、毎日が新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら生活し、園児の日常生活や各種行事の検討や変更が多々ありましたが、園児は各小学校交流会や運動会などを通してたくさんの素晴らしい出会いを経験し、安全・安心な園生活を送ることができました。

これからも園児一人一人と向き合い、寄り添いながらよつば幼稚園ならではの温かい保育に取り組んで参ります。今後も、保護者の皆様や地域の皆様からいただいた意見を大切にしながら、皆様のご期待に添えるよう職員一同、努力してまいりますのでよろしく願いいたします。

【玉里幼稚園】

日頃より幼稚園の保育活動にご理解ご協力をいただき、深く感謝いたします。

幼児が、家庭内での生活から徐々に地域の身近な人と触れ合う機会が増え、他者や地域にかかわりをもつことは、社会性を養ううえで、とても大切なことと思います。また、園児が多くの異年齢児や同年齢児との集団生活や活動を通して様々な影響を受けたり、与えたりして成長していく場として、幼稚園の存在は大変重要ではないかと思えます。

本園では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（文科省）に基づいて、日々の園生活の中で、園児一人一人の発達の姿や個性を把握し援助、指導に努めています。今後も職員一丸となり、園児や保護者との信頼関係を築きながら、園児に寄り添った保育ができるよう一層努力していきたいと思えます。今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。